



g o b a n
t u b e
c a f e

r e p o r t

20080519 トレーニング・カフェ

スタッフのトレーニングのためのカフェ。はじめて、goban tube cafeがカフェとして使われました。

カフェ制作者と完成を祝いながらネスプレッソ片手に、その居心地を確かめます。受付位置をどこにするか、人が集まるとどう動くか、空間の使い方も検証しました。わかったことは、講義形式で使うとスタジオ（やラウンジ）部分とgoban tube cafeが分断されてしまうこと。一体となった使い方が今後の課題です。最後にみんなでどんなカフェが開けそうか、アイディアをだしました。



お花見カフェ

華道教室やフラワーアレンジメント教室の方々が主催となり、カフェの家具を花器に見立て花を生けます。大きな花束のようになった5番チューブの周りでコーヒーを飲む様子は、一風変わった'お花見'みたい。

キャンドル・カフェ

水に浮かべたLED式のティーライトでムード満点のカフェ。クリスマス・イヴ、光に囲まれた定禅寺通を見下ろしながら、恋人たちが"仙台の○○"に関する話題を各テーブルに設置された1Cレコーダーに記録して、恋人同士の声のリレーを楽しめます。恋人同士じゃなくてもOKです。幸せを分けてもらおう！5番チューブの中で、声のリレーがコダマしたら面白いかも。



めだかカフェ

ダツ目メダカ科（アドリアニクチス科）に属するメダカ・目高-Oryzias latipes（アジア圏に14種類生息）を、エスプレッソと味わう魚系カフェ。かと思ひきや、参加者がめだかのような小さき・いとかわゆきものを持ち寄り、エピソードと共に愛でる博愛自慢系カフェ。



コスプレ・カフェ

メディアテーク7階にコスプレ・カフェがオープン。近未来系おしゃれスポットとして知られるメディアテーク7階にAKBを意識したネットカフェがオープン。レイヤー撮影会と撮影技術講習会、ヘアメイク講習会、衣装制作相談会、同人誌制作講座など様々な企画が予定されている。世界コスプレサミット2007イタリア代表のMartina Baiardiはオープニングゲストで来日。「好きなアニメは『地球へ…』。日本の伝統が好きだっちゃ。」と語った。

※これはフィクションです



唄カフェ

5番チューブをぐるりと囲む様に並んで、『森のくまさん』をみんなで輪唱する。夏休みのキャンプファイヤーの様に思いっきり楽しく歌った後、コーヒーでブレイクします。

マダム・カフェと、盆栽・カフェ

ご婦人が集まり、おしゃべりに興じるマダム・カフェ。世界中いたるところで展開されるその光景は、どんな想像力の介入も拒否するが、いったん火がつくとすべてを変える威力もある。そこで、新しい人生と出会いたいあなたは、宇宙が凝縮された盆栽を手に、マダムカフェの闘入者となり、叫ぶ。「ポンソワール、マダム！ポンサーイ！」失笑を招くだけならまだしも、つまらなすぎてだれも気づかないかもしれない、しかしきっと何かがはじけだし、じわじわと事が進み始める。

(注意) 盆栽マダムたちの暴走を止めることができるかどうかは不明



ホスト	カフェ研究所
ゲスト	お世話になった皆さん
マスター	榎橋修

マスターのカフェレポート	其の二	トレーニング・カフェ (2008.05.19)
--------------	-----	-------------------------

カフェは一日にしてならず。

あなたにとって理想のカフェとはなんですか？

新しいスペース<goban tube cafe>は、一見カフェに見えないかもしれません。チューブのまわりに並ぶのはテーブル？椅子？はたまたオブジェ？私たちはこのスペースをまだ一人前になっていない「生まれたてのカフェ」としてデザインしました。このカフェに参加する皆さんがマスターとなりゲストとなって、理想のカフェにしていただきたいと願っています。カフェの極意は「おもてなし」。不肖、私の考える究極のカフェ、カフェ道の境地は「コーヒーのないカフェ」です。



MASTER'S REPORT -1-

マスターのカフェレポート	其の二	お披露目カフェ (2008.05.20)
--------------	-----	----------------------

やんちゃでも元気な子？

7階リニューアルとともに誕生したgoban tube cafe。5月20日は、リニューアルにご協力いただいたみなさんがcafeに集まり、お披露目が行われました。



メディアテークの生みの親である建築家の伊東豊雄さんは「リニューアルで7階こそメディアテークを感じた、わかりやすさだけに縛られないことも大切」などとコメント。「多少やんちゃでも元気な子」と言うのと同じように、「多少わかりにくくてもすごいこと」を忘れず、みんなが集まって未知に挑戦できる場であり続けたいと、あらためて思いました。



普段からネスプレッソを愛飲しているという伊東豊雄さん（メディアテークを設計）

MASTER'S REPORT -2-